

たく こく はん が 拓刻版画で え て がみ つく 絵手紙を作ろう

はんが が ふつう かみ え か いた え うつ ほ もくはん
版画は普通、紙に絵を描き、板に絵を写し彫ります(木版
が け はんが
画や消しゴム版画)

たくこくはんが ほ
拓刻版画は、彫ったものがそのまま絵になります。つまり
はんてん ほ ほ し あ かん あじ
反転していないので、彫りながら仕上がりを味わえる。
そして はんが なんかい たの りてん
そして版画なので何回も楽しめるという利点があります。

【用意するもの】

- 彩玉ボード(ソフトセラミック)※
- 彫刻刀(3本セット)
- 画仙紙(半紙・障子紙などでもOK)
- 釣鐘墨※
- 顔彩(水彩絵の具でもOK)
- 筆
- のり

PFCアドバイザー

はやさか むつこ
早坂 睦子

<http://mu2008.exblog.jp/>



さいたま おお えん
※彩玉ボード=はがきの大きさを300円～
えん ぶんぼうぐてんこうにゆう
400円。文房具店で購入できます。

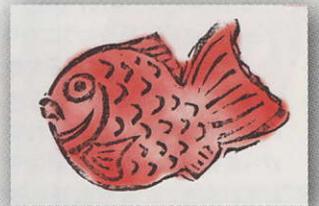
つりがねずみ しょうえん ろう つりがね へんべい
※釣鐘墨=松煙に蠟をまぜ、釣鐘を扁平にした
かたち かた すみ しつ かんたく
ような形に固めた墨。質がやわらかく、乾拓に
もち ぶんぼうぐてん えん こうにゆう
用いる。文房具店などで500円くらいで購入で
きます。

こんかい ほ
今回は、たいやきを彫りました。

あか
これも赤にすれば「めでたい」感じになり、
ねんがじょう いわ てがみ へんしん
年賀状やお祝いの手紙に変身します。

なんかい す はんが
何回も摺れる版画は、

ねんがじょう ひび てがみ やく た
年賀状や日々の手紙にも役に立つでしょう。



あか いろ
赤い色をつければ「めでたい」になります。

1 図案を描く

か きたいものを見て、彩玉
ちよくせつか
ボードに直接描きます。

2 彫刻刀で彫る前に 確認作業

ちようこくとう しょ しんしゃ せん
彫刻刀の初心者、線を
ふと しゅうせい
太めに修正するといいで
しょう。

3 彫刻刀で彫る

せん のこ
線が残るようにするので
しろ ぶぶん ほ
「白い部分を彫る」
(はじめに外側を彫り、細
かい部分を彫るといいで
しょう)

4 釣鐘墨で線を出す

こうか うえ かみ お えんびつ
硬貨の上に紙を置き、鉛筆
でこすって遊んだことを思
だ
い出して下さい。

③で彫り終えた彩玉ボー
うえ がせんし お つり
ドの上に画仙紙を置き、釣
がねずみ
鐘墨でこする。

5 画仙紙に 色を付ける

④で完成した画仙紙に色
つ けま す。細かいところ
いろ うす か
色の薄いところから描くと
いいでしょう。

6 葉書に貼る

かんせい え かわ まわ
完成した絵が乾いたら周
き と はがき
りを切り取り、葉書にはり
ます。

7 言葉を書いたら、 ポストイン

かんせい はがき ことば か
完成した葉書に、言葉を書
きましよう。表にあて名を
か きて は
書いて切手を貼ってポスト
イン。

*出来上がりの線が太かっ
たら細く彫りなおす。凹凸
なく彫るより、少し彫り残し
があるほうが味わいが出
ます。